

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第4時(9時間取り扱い)

三角形の面積を求めようと課題を持つことができる!

本時の授業の概要

前時までに学習した長方形や平行四辺形の面積の求め方をもとに、三角形を二つ合わせて平行四辺形にしたり、平行四辺形に変形したりして、三角形の面積を求める方法を考える。

本時の目標

三角形の面積のいろいろな求め方を考えることができる。

活用場面

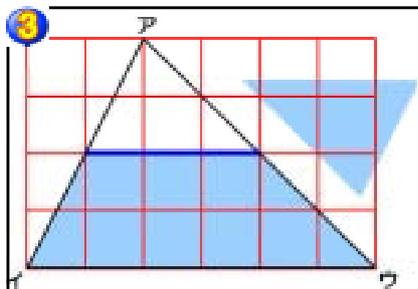
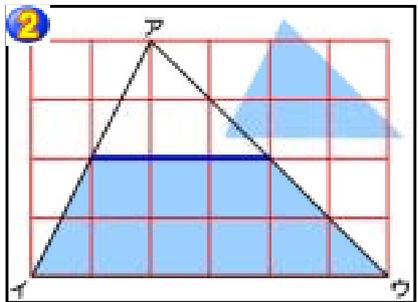
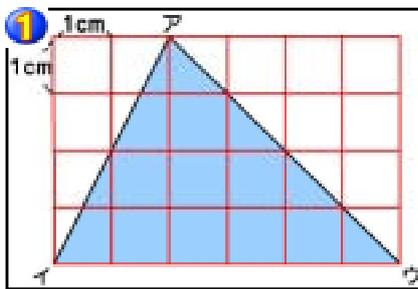
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



これまでどのような図形の面積を求めることができるようになったかを振り返る

① T: 今までどんな図形の面積を求められるようになりましたか。

C: 正方形・長方形・平行四辺形

T: (三角形を提示して) この面積は求められませんか

C: このままではできない

C: 平行四辺形のときのように変形するとできそうだ

三角形を変形して、面積を求められるようになりたいという課題をつかむ

② ③ T: 図形の一部を移動して平行四辺形を作りたいと思います。どうすればいいですか。

C: 回転して(図形をさして)ここに移動する

T: 回転して、移動すれば平行四辺形にすることができそうですね。他の方法で、今まで学習した図形に変形することができないかなあ。

C: いろいろな方法がありそう

T: 今日は、三角形をいろいろな方法で平行四辺形や長方形にして、面積を求めましょう。

【ワンポイントアドバイス】

切った図形を回転・移動をすることができるコンテンツである。平行四辺形に変形できることを理解することにより、他の方法でも三角形の面積を求められるようになりたいという課題意識を高めたい。

最後までデジタルコンテンツを見せるのではなく、途中で止め児童にどんどん発言させ、どのようにすればよいか発見する喜びを味わわせたい。

【サイト情報】

http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14/contents/vol1/p91_02.html

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)